



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月4日

上場会社名 豊和工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6203 URL <https://www.howa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 高広

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部門長 (氏名) 石原 啓充

TEL 052-408-1001

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,847	13.5	74	61.2	244	23.2	220	18.0
2022年3月期第1四半期	4,446	9.6	191		318	853.6	269	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 175百万円 (46.4%) 2022年3月期第1四半期 328百万円 (162.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	18.36	
2022年3月期第1四半期	21.72	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	27,142	16,825	62.0	1,398.18
2022年3月期	27,673	16,890	61.0	1,403.57

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 16,825百万円 2022年3月期 16,890百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		20.00	20.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,700	0.0	230	76.7	280	78.5	230	78.4	18.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	12,548,134 株	2022年3月期	12,548,134 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	514,353 株	2022年3月期	514,353 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	12,033,781 株	2022年3月期1Q	12,396,934 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気の持ち直しの動きがみられるものの、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等により、先行き不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループでは、これまでの安定路線から成長路線に切り替え、スピード感と戦略性のある経営により、ステークホルダーの皆様にご納得いただける「企業価値の向上」を実現するため、2022年5月に新たな3ヶ年の中期経営計画(2023年3月期～2025年3月期)を策定し、メリハリのある事業ポートフォリオ戦略の展開による経営効率の向上と、それに見合った組織体制の構築などにより、クルマの電動化やサプライチェーンの停滞・原材料の高騰などの市場環境の変化に耐えうる強固な企業体質への変革に努めております。

この結果、当第1四半期は、火器で防衛省向け20式5.56mm小銃の受注により増収となったことに加え、円安の進行により海外向けスポーツライフルの輸出採算が改善したことから赤字幅が縮小したものの、工作機械関連、特装車両で黒字を確保するも受注減により減収減益となったこと、建材で防音サッシの受注が低調に推移、減収により赤字幅が拡大したことなどから、連結売上高は前年同四半期比13.5%減の3,847百万円、連結営業利益は同61.2%減の74百万円となりました。また、営業外収益に為替差益、受取配当金などを計上した結果、244百万円の経常利益(前年同四半期比23.2%減)、220百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益(前年同四半期比18.0%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の資産合計は、27,142百万円となり、前連結会計年度末に比べ530百万円減少しました。これは、主として、受取手形、売掛金及び契約資産の減少1,589百万円と仕掛品の増加803百万円、現金及び預金の増加86百万円によるものであります。

当第1四半期末の負債合計は、10,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ465百万円減少しました。これは、主として買掛金の減少397百万円、長期借入金の減少163百万円、賞与引当金の減少154百万円、未払法人税等の減少100百万円と未払費用の増加194百万円、契約負債の増加185百万円によるものであります。

当第1四半期末の純資産合計は、16,825百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円減少しました。これは、主として繰延ヘッジ損益の減少32百万円、利益剰余金の減少19百万円、その他有価証券評価差額金の減少17百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年5月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,419	4,506
受取手形、売掛金及び契約資産	5,550	3,960
電子記録債権	2,140	2,131
リース投資資産	1,129	1,122
商品及び製品	264	271
仕掛品	4,933	5,737
原材料及び貯蔵品	495	534
その他	313	397
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	19,248	18,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,975	1,946
その他(純額)	1,753	1,806
有形固定資産合計	3,728	3,753
無形固定資産		
	568	615
投資その他の資産		
投資有価証券	3,494	3,470
退職給付に係る資産	174	187
その他	496	492
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	4,127	4,112
固定資産合計	8,425	8,481
資産合計	27,673	27,142
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,624	2,226
電子記録債務	505	539
短期借入金	882	872
未払金	212	123
未払費用	758	953
未払法人税等	148	48
未払消費税等	30	22
契約負債	1,182	1,368
賞与引当金	320	166
工事損失引当金	26	43
受注損失引当金	17	4
その他	70	141
流動負債合計	6,778	6,509

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	2,211	2,048
繰延税金負債	278	272
退職給付に係る負債	954	929
資産除去債務	92	92
その他	468	465
<b>固定負債合計</b>	<b>4,005</b>	<b>3,808</b>
<b>負債合計</b>	<b>10,783</b>	<b>10,317</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	9,019	9,019
利益剰余金	7,062	7,042
自己株式	△427	△427
<b>株主資本合計</b>	<b>15,654</b>	<b>15,635</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	1,080	1,062
繰延ヘッジ損益	△0	△33
為替換算調整勘定	102	109
退職給付に係る調整累計額	52	51
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>1,235</b>	<b>1,190</b>
<b>純資産合計</b>	<b>16,890</b>	<b>16,825</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>27,673</b>	<b>27,142</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,446	3,847
売上原価	3,566	3,041
売上総利益	880	806
販売費及び一般管理費	688	732
営業利益	191	74
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	47	59
助成金収入	52	16
為替差益	30	100
雑収入	15	12
営業外収益合計	146	189
営業外費用		
支払利息	3	2
遊休資産維持管理費用	5	5
保険料	5	4
雑損失	5	5
営業外費用合計	19	18
経常利益	318	244
特別利益		
固定資産売却益	1	0
その他	0	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
その他	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	319	245
法人税等	49	24
四半期純利益	269	220
親会社株主に帰属する四半期純利益	269	220

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	269	220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△17
繰延ヘッジ損益	2	△32
為替換算調整勘定	△2	6
退職給付に係る調整額	44	△1
その他の包括利益合計	59	△45
四半期包括利益	328	175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	328	175
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注)3
	工作機械 関連	火器	特装車 両	建 材	不動産 賃貸	国内販売 子会社	国内運送 子会社	計				
売上高												
外部顧客 への売上 高	1,728	478	661	713	123	507	192	4,406	40	4,446	—	4,446
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	67	1	0	—	2	66	107	245	21	266	△266	—
計	1,795	480	662	713	126	573	300	4,651	61	4,712	△266	4,446
セグメント 利益又は損 失(△)	63	△15	36	△16	96	20	△8	176	13	190	1	191

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等1百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産の減損損失額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注)3
	工作機械 関連	火器	特装車 両	建 材	不動産 賃貸	国内販売 子会社	国内運送 子会社	計				
売上高												
外部顧客 への売上 高	1,282	604	419	578	124	589	197	3,796	51	3,847	—	3,847
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	84	1	0	—	2	79	101	269	25	295	△295	—
計	1,367	605	420	578	126	668	299	4,066	76	4,142	△295	3,847
セグメント 利益又は損 失(△)	14	△2	1	△82	96	29	0	58	14	72	1	74

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等1百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。